



# 軽防協ニュース速報（号外）

2015年5月28日

軽種馬防疫協議会 事務局

(JRA 馬事部防疫課)

## アメリカ合衆国における水胞性口炎の発生について

2014年、アメリカ合衆国のテキサス州およびコロラド州で大規模な流行が認められ、その後収束していた水胞性口炎の再発生が確認されている。

米国農務省（USDA）によると、2015年4月末日、テキサス州とコロラド州に隣接するニューメキシコ州のグラント郡およびオテロ郡において、水胞性口炎の発生が2例確認された。国立獣医学研究所（NVSL）の検査により、ウイルスは今年の発生と同じニュージャージー型であることが確認された。5月にはアリゾナ州、ユタ州およびテキサス州においても発生が確認され、さらなる感染の拡大が懸念されている。

5月26日現在までに水胞性口炎ウイルスの陽性が確認された施設は4州で16施設（ニューメキシコ州2施設、アリゾナ州11施設、ユタ州1施設およびテキサス州2施設）となっている。

水胞性口炎ウイルスは、馬、牛、豚、ヒツジ、ヤギ、ラマ他多くの動物の口腔、舌、鼻口、乳頭あるいは蹄に水疱や丘疹を形成する。対症療法によって病変は2~3週間で治癒することが多いが、伝染性の性質および口蹄疫等他疾患との類似性から、これらの徴候が認められた場合にはすぐに報告するよう注意喚起がなされている。ヒトに対する感染性は高くないが、ウイルスが開放創や眼、口などに入った場合にはインフルエンザ様症状を起こす可能性がある。水胞性口炎の伝播には昆虫が重要なベクターであると考えられており、吸血昆虫との接触を可能な限り限定する措置をとることが重要とされている。

### 【参考】

<http://www.aht.org.uk/cms-display/interim-report15-may1.html>

<http://www.aht.org.uk/cms-display/interim-report15-may8.html>

<http://www.aht.org.uk/cms-display/interim-report15-may12.html>

<http://www.aht.org.uk/cms-display/interim-report15-may13.html>

<http://www.thehorse.com/articles/35840/vs-confirmed-in-reeves-county-texas-horses>